



重源上人の事績をとどめる寺

浄土寺



指定区分	県指定史跡
読みかた	じょうどじ
所在地	岡山市中区湯迫
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	備前四十八ヶ寺の一つで、広大な寺院であったという。鎌倉時代のはじめ、東大寺の再建を命じられ、造営料所として備前国を与えられた俊乗坊重源が浄土教を広めた寺の一つとして知られる。重源が庶民の施療のために建てたという大湯屋の跡が境内にあり、「東大寺」、「浄土寺」と記した瓦が出土している。
アクセス方法	JR岡山駅から車で20分 / JR高島駅から徒歩30分 / 宇野バス四御神行「浄土寺前」下車、徒歩約5分
公開状況	外観は自由。史跡内の建物の見学は事前に許可が必要。
設備	【P】普通車約20台。バスは湯迫温泉へ事前許可が必要。 駐車場  トイレ 
備考	椿の名木「延寿の椿」は3月下旬から4月上旬が見ごろ。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	浄土寺
よみかた	じょうどじ
しょざいち (所在地)	岡山市中区湯迫
していたひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	浄土寺は奈良時代(ならじだい)はとても大きな寺でしたが、いったん衰(おと)ろえてしまいました。鎌倉時代(かまくらじだい)になって、奈良県(ならけん)の東大寺(とうだいじ)を再建(さいけん)した重源(ちゅうげん)という僧侶(そうりょ)が、浄土寺をふたたび栄(さか)えさせました。重源はここで浄土教(じょうどきょう)という教(おし)えを広めていきました。